

一般質問

議員は、市長などに対して、市の事務の状況や将来の方針などを質問することができます。
この質問を「市政に関する一般質問」といいます。
今定例会では、19人の議員が一般質問をしました。
その状況について、ご紹介いたします。

壁面広告導入と市の情報PRを！

染谷 和博 議員



壁面広告の導入は？(市役所エレベーター)

問 茨城県は、県庁エレベーター内の壁面を広告場所として収入を確保した。新しい財源の確保として有効だと思うが、市の対応は。 **財政部長** 市有財産の活用を図る観点から有効な方法だと思う。壁面広告については、条例上可能なので、今後検討したい。

問 自治体と結婚情報誌が共同企画したご当地婚姻届が話題となっている。提出用と記念用があり、実施した自治体は工夫を凝らしたデザインを取り入れている。婚姻届は一時滞在の自治体でも提出できるため、婚姻届を提出する旅の企画を準備している自治体もある。ご当地婚姻届はホームページからダウンロードできるが、そこには自治体の

生活に役立つ情報が掲載されている。市もこのような試みを行ってはどうか。

市長 婚姻届や、子どもの誕生・入学などの書類の欄を切り取り、アルバムで比較するのも一つのアイデア。市に興味を持ってもらうことや人口減少に歯止めをかける意味で、PRは非常に大事だと思うので、いろんな方向から研究したい。

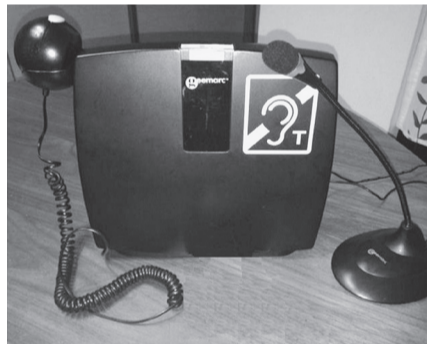
問 市の子育て環境は、他と比べてかなり良いと思うが、実感がない。PRについて、どう考えるか。

健康福祉部長 ホームページの改善はしているが、他と比べて秀でてはいない。取手市は、保育料も比較的安く、保育の種類も豊富である。子育て環境のPRの意味でも、ご当地婚姻届はきっかけづくりとして非常に効果があると思う。

聴覚障害者への配慮は？

阿部 洋子 議員

問 健康福祉まつりでは、補聴器を付けていない耳の遠くなった方でも付属の機器で音を聞くことができる簡易磁気ループのコーナーが目にとまった。機器を設置することによって、聴覚障害者のみならず高齢者に対してもスムーズな窓口対応ができると思うが、



福祉交流センターにある赤色回転灯(左)／簡易磁気ループ(右)

健康福祉部長 福祉交流センターに設置しているが、他の公共施設にはない状況。設置の取り組みについて、関係部署と調整したい。

問 耳は聞きたいものを聞けるといふ素晴らしい構造になっているが、補聴器は全ての音を聞き取るため、付けるのと聞きづらいことがある。その中で簡易磁気ループを設置した自治体もあり、貸し出しも行っている。高齢者が多く来る場所で職員も体験して、検討してほしい。

答 無料で借りられるのであれば、試してみたい。

問 県の聴覚障害者施設には、部屋に赤色・青色回転

灯が設置してある。聴覚障害者が非常事態に状況判断を的確にするため設置を検討してみてもどうか。

答 福祉交流センターに設置しているが、他にはない。避難訓練のときは、身振り手振りで連絡や誘導を行っている。他の方法を含めた充実に向けて、障害者団体や他市の意見を聞き検討をしていきたい。

これからの教育と学校統合への取り組み

平 由子 議員

問 これからの社会を生き残るためには、自分の命を守る必要がある。そのため自分の意見を持った子どもを育てる教育が必要ではないか。優れた公教育制度が存在しない場合、子どもの将来を決定する要因は、親の富・学歴・所得。平等と機会均等が向上すれば教育の生産性は強化され、より良い社会保護の提供は教育の活性化を促す。市では学校統合が行われるが、慣れた校舎を離れ、新しい学校に行くことは、それなりの緊張を強いられる。また、学校を移る側の先生が少ないのは不平等が拡大する可能性があると思うが、どうか。

教育長 現代社会はグローバル化の進展や変化に対応する能力の育成が求められる。その中で言語活動の充実を重視し、思考力・表現力の育成を進めている。また、グループや全体での話し合いの中で、根拠を示した考えを述べたり、他者との考えを交流すること、自分の意見を広げたり、深めたりすることを指導している。統合に向けては、児童・先生との交流活動を進めており、PTAも学校行事の進め方について交流活動を行っている。配置は、それぞれの学校からバランスよくできるように配慮している。子どもは適応力があるので、教職員やPTAが協力すれば統合は成功すると思っている。



4月に統合する戸頭小学校(現戸頭東小学校)